

いのちは歌う

～魂の歌は広大な原っぱを流れゆく～

むらかみよしと タペストリー展

木々が歌っている。流れる川も歌っている。

草も花も森のたくさんの生き物たちも

みんな いのちの歌を歌う。

大地のいのちの歌に答えるように

土器からも魂の歌が流れていく。

いのちの歌は共鳴し 美しいハーモニーとなり、

ゆらめき 重なり ほぐれながら 地を這い

樹幹をぬって風にのり 遠くまで流れていく。

——縄文人になりたい。縄文は自分の原風景、精神の内の深いところにある広大な原っぱです。とても親しみ深く、けれどまだ掴めない未知の世界でもあります。そこに、土をひねるたび見えてくる見えないものがある。そこにある縄文という自分を揺りおこしたい——村上原野2011

会期 2023年 9月1日(金)～11月30日(木)

母の胎内の海で芽生えた生命は 大地の住人になり名前を 原野(広大な原っぱ)と名付けられ、命満ちる広い原野で育った。たくさんの縄文作品を創り 3年前の朝おまえは逝き、おまえは帰り おまえは巣くう。私の中に、人々の中に、自然の中に、世界中に。おまえの縄文の渦は 魂と生命をのせて広い大地に 生命の喜びを贈る。大地ではすべての生命が循環し渦巻いている。人新世～ヒトによる破壊と荒廃に突き進む現代社会は、大地のあらゆる生命たちを絶滅へと加速させる。大地の女神が疲弊していく。森の精霊が破壊されていく。自然と共に、あらゆる生命のネットワークをつなぎ直して復活させるために、生命の歌はうたわれる。精霊の歌に耳を傾け、大地の生命の歌をうたおう。すべての生命たちの中におまえは在り、私はおまえと共に いのちの歌を世界中に届けたい!

——作品『いのちは歌う～魂の歌は 広大な原っぱを 流れゆく～』

(手紡ぎ・草木染・手織作品250×256cm)

【開館時間】午前9:30～午後5:00
【休館日】月曜(祝日は開館・翌火曜休館)
【観覧料】一般400円/高校生200円
【アクセス】岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

猪風来美術館
新見市法曹陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曹609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

日本唯一の現代縄文美術館。
縄文造形家・猪風来と村上原野
の縄文野焼き作品など代表作を
200点以上常設展示。生命と魂の
デザイン～縄文スパイラルアート
を現在直下で展覧しています。

